

第2回

平成16年5月24日(月)午後7時～9時

落合社会教育会館

吉澤座長・松永委員

管理課長・副参事(少子化対策計画担当)・児童家庭課長

西落合児童館長・中井児童館長

参加者 17名(男2・女15)



計画に対する意見・提案

計画全体

少子化対策なのに、出生率を上げるような目標や施策がない。
厳しい財政のなかで持続性のある計画にしてほしい。
子どもは周囲の大人の影響を受けて成長するので、大人の意識改革も必要。

きめこまやかな支援

利用しやすいサービスを提供してほしい。
孤立している親子が心配。

情報

子育て支援施策について知らないことが多い。情報が必要な人に届いていない。

多様な主体による運営

民間委託が進められている。実施したらその評価をきちんとしてほしい。
評価をする場合コスト面だけでなく、質の評価も必要。
民間委託に関係することになり、大きな負担があった。このことを良く知ってほしい。

庁内の連携

教育委員会の人がこの場にはいないが、もっと連携をとるべき。

地域の子育て支援

地域に開かれた保育園を目指し、園児以外にも事業参加を呼びかけたり、地域との協働事業も展開している。(保育園関係者)
ドイツでは、学校が中心となって地域活動している例がある。

落合地域について

緑が多く子育てに適した環境である。
古くからの住宅地域であるが、最近はマンション等の集合住宅も増えてきた。地域の方の努力の中で、子どもが成長していくことがわかった。
子育て中の保護者も忙しさに負けないで、一歩踏み出し主体となって地域活動に参加してほしい。

策定協議会委員の意見・提案

既存の児童遊園だけでなく、緑地や坂道などを利用した遊び場が作れないか。
生活の活性化に活かせるような行政評価制度を考えていくべき。
区民のネットワーク作りに役立つような事業を考えるべき。